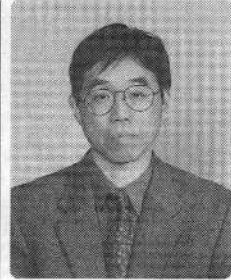


# 下館一高の進路指導の現状

進路指導部長

鯨 雅之  
(五十二回卒)



## 今年度のセンター試験について

昨年より参加大学・短期大学は11校増加し、839校(昨年828校)と過去最高となった。志願者数は、555、537人(昨年558、984人)と、昨年に比べ3、447人(前年比99.4%)減少した。内訳をみると、現役生が442、421人から437、713人と減少し、既卒者も110、211人から109、748人と463人減少した。高等学校等新規卒業者は、058、850人と昨年に比べ5、260人(前年比99.5%)と下降した。現役志願率はセンター試験導入以降上昇が続き、2009年に4割を超えた。以降は伸び率が鈍化しており、速からず横ばいになると見込まれていた。

本試験の受験者数は、外国語ベースで520、528人(昨年520、377人)とな

と慎重に受験校をきめたのが功を奏しました。信頼関係が大ききものをいいます。

合格を勝ち取れなかった生徒には、課題が出せない、さぼる、謙虚に現実を受け止められず、根拠が無いのに無限の可能性があると勝手に信じている、自分の勉強をすると言いつつ「自分に都合の良い勉強」をしていることに気づいていない、受験科目を自分で絞り込んでしまう、などのいくつかの共通する特徴がありました。

## 本校生の入試

河合塾大学入試センター試験総括コメントより引用

今年度の大学入試も、日本の経済状況が相変わらず厳しい中、さらに震災により学習時間が取られ満足な環境での受験とは行きませんでした。一方、センター試験の平均点は、文系7科目型が572点、理系7科目型が586点でした。文系で100点、理系では18点も前年より高くなり、2年連続の上昇となりました。国立大学志願者にとっては、高いレベルで激戦となっていました。

そういう状況の中で、本校生は驚くべき成果をあげました。前期の段階で現役生99名が国立大学合格を勝ち取っており、平成になってからの新記録となりました。センター試験が取れても、担任の先生

## 【各学年の現状】

### 一学年概況

一学年主任 中村聡明

この学年の特徴は、学年行事の豊富さにあります。四月の遠足に始まり、八月と十二月の十時間課外、八月の震災研修、十月の企業訪問、十一月の芸術鑑賞会、二月の合唱コンクールまで、幅広くおこなってきました。

遠足では、各クラスとも違う場所に向かいました。これにより、クラスがまとまる一因になったと感じています。十時間課外では、今までに経験したことのない、一日に十時間という長い時間学習しました。この長い時間をこな

せたのも、周りのクラスメイトがいたからだと言は口々に答えています。

震災研修には、希望であったにもかかわらず沢山の生徒が参加してくれました。向かった先は宮城県石巻市です。朝早くからバスに乗り、四時間後視たその風景は、きつと生徒の心を動かしたと確信しています。

企業訪問と芸術鑑賞会では県外に赴き、いつもとは違った空気を吸いました。これもまた、生徒の成長に寄与しているはずで

最後の行事となる合唱コンクールは、クラスの総仕上げとなるものです。これを書いている時点ではまだおこなわれてはいないのですが、一年の教員陣も含め大いに盛り上がったことでしょう。

最後に、一学年の生徒に関して感じていることですが、ACCという制度の下、朝早くから夜遅くまでとにかく頑張っています。九割近くの部活動加入率も目を見張るものがあります。

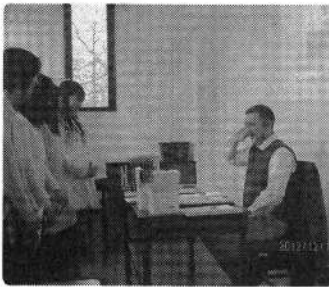
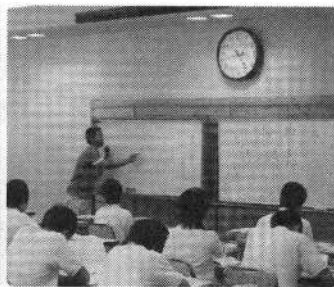
こんなに一生懸命学校生活を送っている生徒に対して、いいかげんな教育をできるわけがありません。我々一学年教員は、生徒の潜在能力を徹底して引き出していく所存です。

## 二学年概況

二学年主任 深谷 祐

六月の大学見学、七、八月のオープンキャンパス参加、八月の希望者による東北震災学習、十月の修学旅行と二年生は校外に出ることが多かった。この中で庄巻は矢張り修学旅行であろう。超大型台風の影響で実施が危ぶまれたのみならず、ようよう辿り着いてみればその晩の宿がなくなっていたという前代未聞の為体。その宿は被害が激しく、宿泊不能となっていたのだ。当然次の日の離島民泊体験も被害甚大といつことで中止となり、旅行団は一時途方に暮れた。しかし、旅行業者の臨機応変の対応、団長の原校長以下の教員の要を得た指導、生徒の柔軟な対応により、ホテルや行程の変更を繰り返しつつも無事旅行を終えることができた。

旅行後、二年生には「受験生になる」という目標となった。十月には学年PTAと進路講演会、十二月には希望者による茨城大学説明会及び三者面談、一月以降は志望理由書の作成と進路に関する行事が相次いでいる。いよいよ一年後の大学受験に対して覚悟をもって向き合う時期となった。学年ではこれからも生徒の進路実現をサポートして行くつもりである。





**三学年概況**

**三学年主任 國府田一之**

三学年の生徒たちは、四月からの九ヶ月間、下館一高の最上級生として、しっかりと一・二年生をリードして頑張ってきたと思います。

元々この学年の生徒はまとまりの良さが感じられました。二年次の修学旅行では、クラス毎のまとまりは当然ながら、最後の晩の夕食時に開いたサプライズ誕生会でクラスを超えた学年全体での盛り上がりを見せ、誕生日を迎えた生徒たちを祝っていました。今年度も、六月に実施された館力祭で、有志が企画・運営に尽力しただけでなく、当日も一・二年生を巻き込んで応援で盛り上がり、行事の成功につながっていました。九月に行われたクラスマッチもまた然りです。

リーダーとして集団を引っ張ることのできる生徒が存在し、そしてそれ以上に素晴らしいのが、他の生徒たちが皆リーダーの下に集まり、その生徒を支えようとする姿勢を持っていることです。その三年生は、一月一九・

二十日に行われる大学入試センター試験とその後の私立大入試や国公立大の二次試験に向けて、寝る間も惜しみながらラストスパートをかけていきます。寒さも厳しくなり、風邪気味でマスクが手放せない生徒や、睡眠不足で授業中も目をしょぼしょぼさせている生徒もいますが、最後まで気持ちを切らさず、諦めることなく努力し続け、入試本番でも力を出し切って欲しいと思います。そうすれば、結果は必ずついてくると信じています。

なお、今年度の推薦入試での合格者は次の通りです。

- |      |           |          |    |
|------|-----------|----------|----|
| 国立大学 | 一般推薦入試合格者 | 筑波大学     | 一名 |
|      |           | 茨城大学     | 一名 |
|      |           | 茨城県立医療大学 | 二名 |
|      |           | 宇都宮大学    | 四名 |
|      |           | 埼玉大学     | 一名 |
|      |           | 群馬大学     | 一名 |
|      |           | 横浜国立大学   | 一名 |
|      |           | 計十一名     |    |
| 私立大学 | 指定校推薦合格者  | 慶応大学     | 一名 |
|      |           | 明治大学     | 一名 |

- |      |              |    |
|------|--------------|----|
| 立正大学 | 国際医療福祉大学     | 一名 |
|      | 女子栄養大学       | 一名 |
|      | 明治薬科大学       | 一名 |
|      | 土浦病院付属看護専門学校 | 一名 |
|      | 津田塾大学        | 一名 |
|      | 武蔵野大学        | 一名 |
|      | 日本大学         | 一名 |
|      | 東京家政大学       | 二名 |
|      | 計十二名         |    |

- |      |         |      |    |
|------|---------|------|----|
| 私立大学 | 一般推薦合格者 | 文教大学 | 一名 |
|      |         | 日本大学 | 一名 |
|      |         | 計二名  |    |

- |             |          |    |
|-------------|----------|----|
| 私立大学AO入試合格者 | 千葉科学大学   | 一名 |
|             | 日本医療科学大学 | 一名 |
|             | 日本体育大学   | 一名 |
|             | 国際医療福祉大学 | 一名 |
|             | 文教大学     | 一名 |
|             | 計五名      |    |



**平成二十四年度 職員異動**

- |       |        |        |
|-------|--------|--------|
| 一 退職者 | 教諭(英語) | 塚田小枝子  |
|       | 事務室長   | 海老沢 昇  |
| 二 転出者 | 教諭(化学) | 吉原 康男  |
|       | 教諭(英語) | (鬼怒商へ) |
|       | 教諭(英語) | 長谷川 孝  |

- |        |       |             |
|--------|-------|-------------|
| 教諭(社会) | 中村 勉  | (坂東総合高へ)    |
| 教諭(数学) | 田中芳和  | (古河三高へ)     |
| 講師(国語) | 上野光子  | (古河三高へ)     |
| 講師(理科) | 大月 忍  | (下館二高へ)     |
| 講師(理科) | 鈴木拓馬  | (境高校へ)      |
| 講師(理科) | 鈴木拓馬  | (結城一高へ)     |
| 主事     | 新里 康  | (県西県民センター)  |
| 三 転入者  | 富田哲夫  | (古河二高より)    |
| 事務室長   | 木村 裕  | (岩井高校より)    |
| 教諭(理科) | 四家明彦  | (荻崎高校より)    |
| 教諭(理科) | 秋葉 純  | (境高校より)     |
| 教諭(社会) | 有年恵一  | (三和高校より)    |
| 教諭(英語) | 仙波聡美  | (電ヶ崎南高校より)  |
| 教諭(国語) | 下条茂樹  | (常勤講師(英語))  |
|        | 並木知美  | (非常勤講師(国語)) |
|        | 中嶋鉄郎  | (境高校より)     |
| 主事     | 外山千恵美 | (筑西県税事務所より) |

主な大学合格者数

(年度は入試年度です。)

(主な国立大学)

大学名	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度
東北	2	0	1	0	0
山形	8	2	1	4	0
福島	9	1	4	4	0
茨城	24	19	38	18	17
筑波	7	12	13	9	11
宇都宮	16	14	19	17	18
群馬	3	2	2	5	1
埼玉	9	4	7	8	7
千葉	4	1	4	3	1
東京	0	0	0	0	1
一橋	0	0	0	1	0
東京工業	0	0	1	1	1
東京外語	0	1	0	0	1
横浜国立	0	0	0	3	2
その他	9	10	5	7	3
国立大計	91	66	95	80	64

(主な私立大学)

大学名	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度
国際医療福祉	11	7	14	27	16
獨協	5	12	14	12	9
文教	18	18	12	19	7
青山学院	7	6	6	10	9
大妻女子	14	0	12	12	0
北里	1	4	6	6	4
慶應	1	2	4	3	6
国際基督教	0	0	0	0	0
駒沢	6	10	13	14	11
芝浦工業	15	10	27	12	12
上智	0	1	0	1	1
専修	12	11	12	22	12
中央	22	5	11	17	13
津田塾	2	3	2	1	2
東京女子	4	1	1	4	0
東京薬科	0	2	1	5	1
東京理科	9	12	19	8	11
東洋	29	24	40	34	23
日本	21	22	37	30	16
日本女子	5	4	2	3	1
法政	7	13	16	25	18
東京都市	3	2	7	8	2
明治治	17	10	12	19	5
明治学院	19	7	8	16	2
立教	38	4	4	6	2
早稲田	1	4	4	6	2
その他	365	234	217	341	241
私立大計	632	427	501	661	426

(主な公立大学)

大学名	24年度	23年度	22年度	21年度	20年度
高崎経済	4	0	5	6	2
県立医療	5	3	5	5	2
首都大東京	1	1	3	7	2
横浜市立	0	0	0	1	0
その他	23	18	6	12	4
公立大計	33	22	19	31	10

進路決定先人数

年度	国公立大	私立大	短期大学	専門学校	就職	未定・他	卒業者数
24	106	130	4	13	2	18	273
23	77	159	3	6	1	27	273
22	88	133	0	4	1	52	278
21	82	161	5	6	3	21	278
20	65	133	0	13	1	62	274
19	64	162	5	9	4	32	276

2013年度大学入試センター試験平均点

科目	国語	数学ⅠA	数学ⅡB	英語	世界史B	日本史B	地理B
本校平均	101.9	49.9	51.8	125.8	62.4	63.1	61.6
全国平均	101.0	51.18	55.64	119.2	62.4	62.13	61.9

科目	物理Ⅰ	化学Ⅰ	生物Ⅰ	リスニング
本校平均	63.8	64.4	62.8	32.6
全国平均	62.7	63.6	61.3	31.4

※ 全国平均は中間発表のものです。